



「北粉浜の風」

11月号大阪市立北粉浜小学校



秋の夜長につらつらと思うこと！



10月になっても夏日が続き、秋の深まりがなかなか感じられません。ただ、街の中のキンモクセイがほのかな香りを漂わせ、木々の葉もほんのりと色づき始めています。11月は、秋らしい季節感を味わいたいものです。

秋の夜は長く、つい色々なことを考えてしまいます。自分のこと、家族のこと、そして学校のこと、子どもたちのことなどが頭をよぎります。そんな時この詩を見つけました。おもしろい詩だと思い紹介します。

この詩は、そこらへんに転がっている小石に、何か生命を宿しているかのようにその存在を認めています。石ころにとっても、自分の存在を認めてくれるのならきっとうれしいだろうなと思いました。人間ならなおさらです。互いに認め合いながら生きている。それが社会であり、社会のやさしさなのかなと考えました。みなさんは、どう感じられたでしょうか。

小石はなんて幸せなんだ

作 エミリ・ディキンソン
訳 岩田 典子

小石はなんて幸せなんだ
道路にひとり ころがって
仕事のことも気にかけず
衣食住こと欠くも恐れず
その天然の茶色の上衣
通りがかりの宇宙が着せた
ひとり立ちして 太陽のよう
仲間と和すも 独りきりで輝くも
さりげなく 素朴に
天命を果たしつ

10月は、運動会、なかよし遠足、修学旅行と、子どもたちにとってかなり充実した月ではなかったでしょうか。

運動会は、みごとな秋晴れのもとで繰り広げられた競技や演技に、温かいご声援と大きな拍手をいただきありがとうございました。子どもたちにとって大きな励みと自信になったと思います。

なかよし遠足は、5年生が班長となって下の学年を引率しました。みごとなリーダーぶりに、低学年の子どもたちにとって「やさしくて頼りになるお兄さん、お姉さん」となりました。

11月には、「土曜参観」と「創立50周年記念式典」があります。

特に、この「創立50周年記念式典」には、

5・6年生が在校生代表として出席します。多くの地域や保護者のみなさま方にもご出席いただき、ともに北粉浜小学校創立50周年をお祝いしたいと思います。

※ 北粉浜小学校創立50周年記念式典
11月21日(土) 午前10時 開式

